

会 議 録

平成 30 年 4 月 9 日 作成

審議会等名	平成 29 年度 第 3 回 図書館協議会
公開の別	全部公開
開催日時	平成 30 年 3 月 22 日 (木) 午後 2 時～ 4 時
開催場所	三条市立図書館 2 階 視聴覚室
傍聴者の有無	有
出席者氏名	<p>【協議会委員】</p> <p>五十嵐章雄委員長 倉品章副委員長 小林委員 近藤委員 関谷委員 六原委員 長谷川委員</p> <p>【説明のための職員】</p> <p>金子生涯学習課長 齋藤生涯学習課長補佐 阿部生涯学習推進係長 伊藤生涯学習推進係主任</p> <p>【指定管理者】</p> <p>北浦館長 菊崎業務責任者 竹内副責任者 村山副責任者 梅田副責任者</p>
協議題	<p>(1) 平成 29 年度の図書館利用状況について</p> <p>(2) 図書館活動の状況について</p> <p>(3) 平成 30 年度の運営計画について</p> <p>(4) その他</p>
生涯学習課長	(あいさつ)
図書館長	それでは、これ以降の議事進行を委員長、副委員長にお任せする。
五十嵐委員長	協議題(1)「平成 29 年度の図書館利用状況」についての説明を求めたい。
図書館長	(「平成 29 年度の図書館利用状況」について説明)
五十嵐委員長	ただいまの説明について、質問や意見のある方は挙手をもって発言してください。
六原委員	この資料で、団体と書いてあるところは団体貸出の回数か？
図書館長	はい、そうです。
六原委員	<p>これは、200%というところもあるし、伸びていると思う。</p> <p>自動車文庫だが、親が車に乗せて、本館なり分館なりに連れていかないと行かない子どもたちの学校があり、新しく組み込んでもらえないか。昔、入れてもらった経緯がある。お話し会とか、学校に寄せていただいて読み聞かせした後に、「こういうのシリーズ、図書館にあるから」と。魅力的な本があると。「自動車文庫が来たら、頼んでね」と言うと、子どもたちは「じゃあこれ、頼めばあるんだね」と。そういうこともあるので、学校関係は、できれば切らないでほしい。人が少ないというのはどこでも同じなのかもしれないが、何とかやり繰りして続けてというのが希望だ。</p>

図書館長	<p>はい。自動車文庫は30年度も引き続き、取り組ませていただくつもりです。</p> <p>学校に関しては、減らすことはありません。ただ、先ほど申し上げたように、自動車文庫でなければというふうな意味がちょっと薄れかかっているところが2カ所ほどありましたので、そこはご相談して、団体貸出に変更させていただくというようなことで、お願いをしようと思っています。</p>
五十嵐委員長	<p>はい、ありがとうございます。そのほか、ございますでしょうか。よろしいでしょうかね。では、次の図書館活動の状況ということについて、では、またご説明をお願いします。</p>
図書館長	(「図書館活動の状況」について説明)
五十嵐委員長	<p>はい、ありがとうございます。大変いろんなところに活動の幅を広げて、図書館に来る人を増やすという努力をしておられるということはよくわかりましたし、その点で質問とか、あるいは、こんなこともあるんじゃないかとか、いろいろ建設的なご意見がありましたら、ぜひこの場で発表していただきたいと思います。では、どこからでもどうぞ、お願いします。</p>
関谷委員	<p>12 ページについてお伺いします。一番下にボランティア出前サービスがありますが、そのボランティアというのは、下に6団体ありその活動の様子を、ここに数字にしたのか。</p>
図書館長	<p>そうです。ご報告をいただいておまして、それをまとめて提示させていただきました。</p>
関谷委員	<p>私もボランティアに入っているが、途中から人数を報告ということが入り、人数も報告している。この6団体で、例えば4月が18って、ちょっと少ないような気がするが、何か限定して載せているか。例えば学校の朝読書は入れないとか。</p>
図書館長	<p>特にこちらでは限定はさせていただかなかった。</p>
六原委員	<p>4月は年度の組み替えどきで、学校に行くのが5月以降になることが多いので、少ないと思う。</p>
関谷委員	<p>例えば、私のボランティアでは、最近10校行っていますし、こちら、一緒のぱれっとも10校行っていますし、それだけでも20校になるので、ちょっと少ないんじゃないかなと思ったので、もし……</p>
六原委員	<p>報告が違ったのかもしれない。</p>
関谷委員	<p>報告の落ちですかね。</p>
六原委員	<p>各団体、こういう紙を出しています。</p>
図書館長	<p>スタッフにも確認しましたが、いただいた情報をそのまま載せたということでした。お手数をおかけしますが、報告をいただくと載せるようにします。</p>
六原委員	<p>さばらないで出すようにする。</p>

図書館長	よろしくお願ひいたします。
五十嵐委員長	すっかり忘れることもありますのでね。
六原委員	まとめて出してしまったりすることもある。
図書館長	こちらこそよろしくお願ひいたします。
五十嵐委員長	ほかにいかがでしょうか。
長谷川委員	児童サービスの13ページからのところで、内容にブックトークとあるところが、これ、以前は学校訪問と言っていたと思うが、今はもうおはなしの出前で統一しているのか。
図書館長	ブックトークというのは、授業を1コマ、預からせて……
長谷川委員	なので、それを学校に行ってそれをするのを学校訪問という名前で、事業計画にもそういう名前で載っていると思った、学校も、保育所も、ほかのところも、全部もう、おはなしの出前という名前で統一をしているのか。
図書館長	そうですね、はい。
長谷川委員	統一されているのか？
図書館長	はい。
長谷川委員	でも、もう学校訪問という言い方はしないのか。
図書館長	学校訪問というのは、今、使っていないです。
長谷川委員	6月のときの事業運営計画には学校訪問と出っていたので、どこかでそういうふうに統一されてしまったということか。
図書館長	(確認する)
長谷川委員	途中で変えたのか、ここにはないもので、ちょっとどうなのかなと思って。学校訪問に行っていないのかなと思って見ていたら、そのブックトークと書いてあるところは、たぶん以前言っていた学校訪問という形のものだと思うので、名前は。前は、学校に行くのは学校訪問と言っていて、それ以外はおはなしの出前というふうに分けて書いて、わかりやすいように。で、一緒にされたのかなと思って今、聞きました。
図書館長	事業報告では分けて……
長谷川委員	いるんですか。
図書館長	はい、それを、ここではまとめているという。
長谷川委員	名前をただ単に、じゃあ一緒にしちゃって。
図書館長	そうですね。
長谷川委員	でも、学校訪問にさせていただいたほうが、私はちょっとわかりやすいかなと思うが、いかが。
図書館長	次回の協議会資料からは、そういうふうに戻させていただきます。
長谷川委員	はい。あとは、前回の6月のときにも、子どもの読書サービスの中で、中学生の状況はどうでしょうかみたいな話がたぶん出ていて、次回にそれを報告するお話をされていたかと思うんですけども、いかがでしょうか。

図書館長	はい。中学生というくくりがなかなか難しかったものですから、いわゆるティーンズというご報告させていただこうかなと思っている、ちょっと具体的にご報告をしていないという状況です。これから、引き続きやらせていただければと。
長谷川委員	お願いしたいと思います。
五十嵐委員長	じゃあ今のご意見、よろしいでしょうかね。学校と保育園と分けてわかるようにすると。統計上も、そのほうがやりやすいような気がします。
六原委員	私の知り合いからとか、いろいろ「こんなの聞いて」「これ、言って」ということがある。
五十嵐委員長	実施報告にかかわる部分であれば。
六原委員	勉強室の仕切りってどうなっているのか。個々に仕切りがあるのか。
図書館長	<p>学習室に関しましては、今までは席が並んで、全く仕切りがない状況でした。Wi-Fi を利用したい、パソコンや iPad を利用したいという方がいます。例えばキーボードの音が気になると、そういったお話もいただいております。、表示としてキーボードの音には気を付けてくださいということを書きながら、パソコンはここで使っていただけますと表示をして、ちょうど入ってすぐの手前のところに大きな島と、それから、そこに手づくりですが、仕切った席を壁際につくりました。こちらでパソコン、向こうで学習というふうなすみわけをしてみました。</p> <p>経過を見ているんですが、三条市に Wi-Fi を付けていただいている、発信機がちょうどその手前のところにあるものですから、例えば Wi-Fi 利用もここでと大別してみました。パソコン可、パソコン不可としてみました。</p>
六原委員	ちょっとまた後で見せていただきます。
図書館長	はい、後で。
六原委員	それと、学習室のところで、確か6月のときだと思うが、中学生の読書意欲を高めるような目的でというような形で話したかなと思う。ちょっと一息つけるような、クスッと笑えるような絵本とか、紹介するスペースがあったらなという話をして、勉強には通っているんだけど、息抜きにそんなのをちょっと手に取れるようなスペースがあったら、みたいな話をしていた。中学生も絵本を嫌いじゃない。読んでいる暇がなかったり、手にする機会がなかったりするんで、そんなスペースができたらなというのが。子ども読書コーナーに中学生が行って絵本を選ぶっていうのは、なかなかないので。「こんなの、絵本だけど、笑えるよ」みたいなのが、あったりすると、勉強の合間に手に取ってみるかな、と。
図書館長	ちょっと後でのぞいていただくと、少しやってみました。
六原委員	はい、ありがとうございます。
図書館長	皆さんからいただいたご指摘によって、スペースはそんなに広くないんですが、そういった本を集めたりとか、あと2階のくつろぎスペース(カフェ)のところに、面白本を本棚みたいにして、今やっています。

倉品副委員長	ああ、怖い絵本ありましたよ。
図書館長	犬年の初めには犬漫画を本棚に。自由に読んでくださいという場所をつくりました。
六原委員	利用者からですけれど、「本を借りたい本がここになくてと言ったら、相互貸借で借りてくれて、すごい助かったわ」と話があって、ほかの市で「借りてください」って言ったら、「郵送にもお金がかかるので、今回だけにしてくださいね」と言われたこともある。図書館によって対応は違うと思うが「三条図書館の方は気持ちよく借りてくださったので、お金を取られるわけでもなかったし」ということで、すごく喜んでいました。「伝えてね」と言われたので、ありがとうございます。
図書館長	今のお話は大変ありがたいお話でして、相互貸借は双方で、郵送費を負担する仕組みにはなっております。今のお話の館は、そこがちょっと厳しかったのかなと。
六原委員	そうですね、きっとね。
図書館長	三条も、あらためて計画のときに申し上げようと思ったんですが、もちろん厳しい、非常に厳しい財政状態にはあるんですが、サービスということで、やらせていただいていることがあります。
五十嵐委員長	はい。ありがとうございます。いいお話がいっぱい出てくるといいなという気がします。ほかにいかがでしょうか。
六原委員	以前、雑誌オーナー制を始めますというお話があったと思うが、状況はどうか。
図書館長	今、6社7冊ということで、最初はお願いをして始めいただいたところもありますが。最近は「ホームページを見たよ」というふうにおっしゃっていただいて、「やってみたい」ということで。「広告ページがあるので、広告ページを入れ替えできますよね」と、「もちろんです」とやらせていただいている。目標は10社だったのですが、まだ7割ぐらいなんですけど、これも並行してやっていきたいと思います。
五十嵐委員長	ありがとうございます。そのほか、いかがでしょうか。保育園のほうは、いかがですかね。何か今年度の活動を振り返って、何かご要望とか、いろいろ、どんなものでも結構ですが。
近藤委員	今年度の嵐南保育所は、おはなしの出前を活用し、団体貸出も100冊ということで貸してもらった。なかなか保育所だけの絵本では足りなくて、こういう団体貸出があって、本当に助かっている。保護者の方に、その絵本の大切さみたいなのをなかなか伝わらず、持って帰っても、子どもさんだけで読んで、読んでもらえなかったという声も聞かれるので、今後の課題かと。絵本好きにしていくのは、保護者の方にもやっぱり絵本を好きになってもらいたい、本を好きになってもらいたいというのがこれからの課題かなと感じている。1年間ありがとうございました。
五十嵐委員長	ありがとうございます。小林委員、何かありますか。
小林委員	先ほど話に出ました、おはなしの出前、学校訪問、子どもたちの読み

	<p>聞かせとか、学校の要望にいろいろな形でお答えて、図書環境にサポートしてもらい、大変ありがたいなと思っている。</p> <p>いろんなイベントにも参加したりという動きも伝わってきたし、親子読書の取り組みなどでも、親子でお話を読む、それもまた非常に効果的なことが見られたようなので、できることをまた進めながら、またお力添えいただいてやっていきたいなと思っている。</p> <p>私自身、初めて小学校に来て、絵本を寄付していただいた方の文庫がたくさんあって、子どもたちによさそうだなと思うのを10冊ぐらいずつ並べて紹介した。結構子どもたちがそれを立ち止まって読んだり、手にしたりというふうにしていたので、そんな活動を、小さなものから少し本好きになるようなものにしていけるといいのかなと、考えているところです。ありがとうございました。</p>
五十嵐委員長	<p>はい。よろしいですか。全体そのほかございますか。報告のほうは以上で、次の、来年度の計画のほうにいきたいと思います。また事務局のほうで説明をお願いいたします。</p>
	協議題(3)「平成30年度の運営計画」について
図書館長	(協議題(3)「平成27年度の運営計画」について説明)
五十嵐委員長	<p>はい、ありがとうございました。運営哲学もよくわかるお話で、まあ、その方針でしっかりと頑張っていただきたいと思うんですが、来年度計画につきまして、ご意見・ご質問等ありましたら、お願いいたします。</p> <p>特に新しい活動というのは、現状で、何かありますか。</p>
図書館長	<p>お約束できることは、絶対にやることを書かせていただいたというふうにご理解いただければと思います。</p> <p>例えば考えているのは、図書館のベンチのあるちょうど南側です。あと、児童室からみえる中庭があるんですが、そこも何とかしたいと。今、頭の中でしたいなというふうに思っている。3年間かければやれるかなと。人が来られて、図書館利用をされない方でも、そこで過ごせるような場所があるのもったいない、と。中庭もせっかくなのできれいにしたいと思っています。</p>
五十嵐委員長	ありがとうございます。
金子課長	ちょっといいですか。
五十嵐委員長	はい、どうぞ。
金子課長	<p>来年度から市が3年間、お願いするわけですがけれども、先ほど申し上げましたように、まちのにぎわいということで、ずっと今、取り組んでおりますので、図書館さん、今、中庭とかの提案もございましたし、まちなか図書館とか、いろいろやっておりますので、できればそこもまた広げながら、新たなまちのにぎわいを一緒にやっていきたいと思っております。</p>
倉品副委員長	いいですか。
五十嵐委員長	はい、どうぞ。

倉品副委員長	先ほど、居心地のいいという声をたくさんというお話がありましたけど……私、感じます。去年と比べてというんじゃないくて、もうちょっと長いスパンで、結構、5年ぐらい前の図書館と、10年ぐらい前の図書館と比べると、やっぱり居心地がよくなったなという感じはします。玄関から入ってすぐ、玄関は顔だと言われますけれども、ゆったりした感じで、本の並べ方なども工夫されてあったり。で、ソファを替えたりしましたよね……
図書館長	位置を替えました。
倉品副委員長	机と、いすだけの、ちょっと堅いような感じの学習室とあまり変わりのないような感じのスペースだったが、ソファというのがやっぱり僕ら、中高年にはありがたい。ゆったりと雑誌や本が読めるっていうスペースになりました。先ほど出ていたカフェのところも、今まではちょっと暗くてね、なんかお化けが出てきそうな感じで。作品がね、立派な作品があるけれども、何か見るのも肩身が狭いような感じで見させてもらったんですけど、ぐっとフロアから明るい感じになって、いい感じになってきているなっていうふうに思っている。日々進化しているんじゃないかなと思っていますので、その中庭の件、期待しているところですけどもね。
図書館長	その件は……
倉品副委員長	もう1点、この3ページのボランティア養成講座の話があり、読み聞かせボランティアということ、ぜひ強く推進していただきたいなと思う。また、読み聞かせをお母さん方をターゲットに考えて、それは大前提で中心ですが、いわゆる高齢者に視点を当ててもいいのかなと思っている。孫と一緒に読む絵本講座みたいな。あるいは、孫に読み聞かせるというような。今、若いパパ、ママは本当に忙しいですよ。ほとんどの方が共に働いている家庭が多いので、なかなか読み聞かせることが少ない。昔もそうだったので、そういうときには、おばあちゃんが読んで聞かせたことが多いんでしょうけども、今、核家族化しているので難しい状況。一方、僕たち、60、65歳で定年を迎えた仲間に聞いていると、暇で畑でもしようかと言っているとか、行くところがないからスポーツジムへ行っている、と。やっぱりあの年齢層の、今までの経験とパワーをもっともっと生かしたらいいなと。社会教育という立場でもぜひそんな観点で講座とか、あるいはイベント、呼びかけみたいなことをお願いしたいなと思っている。要望ですけども。
図書館長	その際は委員長、副委員長、よろしく願いいたします。
五十嵐委員長	本当に高齢者の活用を。退職してから20年、25年あるわけですから、ぜひ何かもう一仕事やってほしいなと。 ほかにいかがでしょうか。 私から。他県の神主さんのホームページがあって見ていたら、その方は、とにかく新刊書をバツと、芥川賞とか何か有名になると新刊書を買うんだそうです。ハードカバーの立派な本を。そして、読み終わると、

	それを図書館に寄付すると。必ずそういうことをして、だから、家が本でいっぱいになることはないが、いっぱい本は読んでいるという話があった。図書館からもそういう動きを積極的に働きかけて、ベストセラーを読み終わったら、図書館へくださいみたいなことがあってもいいのかなと、ちょっと思ったものです。
図書館長	予約待ちの方もいらっしゃると思います。
五十嵐委員長	ですね。それをほかで買った人が寄付してくれれば、多少、買う人は大変なんでしょうけど。はい、そのほか、いかがでしょうか。
六原委員	今年の冬、本当に大変だったけれども、図書館の周りの雪除けというのは、どこが主体でやっているのか。図書館が丸々という形なのか、市の道だから、ちゃんと市の雪除けのものが入ってきているとは思いますが。図書館の駐車場の敷地ですね、着いても入れないような、利用者数が減ってしまったのも、それが原因かなと数字を見て思ったんですが。図書館の敷地内の除雪、手掻きではちょっと難しかったのではないかなと思う。機械が置いてあるとか、それを使える人がいて、図書館のほうでということなら、その機械があるのかということをお聞きしたい、そういう災害、雪害なので。そういうときの場合はどういうふうなシステムか。
金子課長	私のほうから。今年の大雪ということで、各施設、図書館をはじめ、いろいろな施設、除雪、雪除けで大変な状態でございます。まず三条市の除雪については、道路の確保ということで、もう道路優先でいます。生活通路を確保しなければいけないというところで、除雪を重点的にしております。ですので、施設についてはまず、一時的にもう手作業、または、館にある小さな除雪機でやるというところがあって、対応しておりましたけれども、今年の大雪ですので、もう対応しきれないという状態です。ですので、私どものほうも、役所のほうと連絡を取りながら、除雪の機械が、道路除雪の合間を縫ってお願いをしたりということをやっておりました。ただ、実際に降る日は、その日のうちは道路除雪、1日、2日はもう道路除雪というふうな状態が続きます。今年の状態ですと、もう何日も何日も除雪でしたので、図書館さんをはじめ、ほかの施設も、なかなか除雪が進まなかったということがあります。ですが、何回か、市の除雪を入れることができましたので、それで対応をさせていただいているということでもあります。今後の除雪については、市全体を含めて、除雪対応を、これからまたもう一回、見直しというか、どういう対応をするのかというところを、していかなければならないなと思っております。
六原委員	ありがとうございました。
五十嵐委員長	館長さんは何か、補足説明は。
図書館長	今年は三条市全体が大変といいますか、本当にぎりぎりのところでやっておられる中で、やっぱりお願いをして来ていただいた率が非常に高かったというふうに思います。ただ、押しつけていった雪の山をなかなか

	職員で崩せなかったというのも、反省としてあります。今年は雪がすごくて、押したのに、また積もるといふふうな非常事態だったと思います。本当によく来ていただいたなと思っております。
五十嵐委員長	ありがとうございました。何年かに1回の雪でしたので。ほかにございますか。はい、お声がありませんが、では平成30年度事業計画について終わりました、(2)その他については何かございますでしょうか。
	協議題(4) その他
五十嵐委員長	はい、ありがとうございました。全体を通してほかになにかございましたら。
関谷委員	蔵書点検の結果の数字って、ここでは資料としては出ないのか。
図書館長	そうですね。正式にはちょっと……
伊藤主任	確定ではない。速報で。まだこれからきちんと。
関谷委員	じゃあ、ご報告をいただきたい。
五十嵐委員長	次年度第1回には、しっかりお願いします。ほかにはいかがでしょうか。なければ、以上で協議のほうを終了したいと思います。